

特別講演

作業療法のポテンシャル

～ケーキの切れない非行少年たちに出会うまで～

宮口 英樹 氏 (広島大学 大学院医系科学研究科 教授)

司会：奈良県総合リハビリテーションセンター 嶋谷和之

【司会より 趣旨】

宮口氏の作業療法士としてのスタートは、開設初期の奈良県心身障害者リハビリテーションセンター（現 奈良県総合リハビリテーションセンター）で、7年間ご勤務されました。その当時の奈良県作業療法士会の会員数は、みんな顔見知りの20～30名程度ではなかったかと記憶しています。それから四半世紀が立ち、奈良県作業療法士会の会員数は大幅に増加しています。

第13回作業療法学会テーマ「子どもから大人までを応援する作業療法 ～科学と実践～」です。宮口氏のご研究・ご活動は、子どもから大人まで年齢を問わず、領域を問わず非常に多岐にわたっています。その根底には、作業療法士としてのお考えや視点・発想があると思います。エビデンスに関する論文等も多数で、学会長を務められた第52回日本作業療法学会のテーマは「根拠に基づいた作業療法の展開」であり、「作業療法に求められる科学的根拠」のテーマで学会長講演をされました。このようなことから、奈良県作業療法士会の初期メンバーであり、多方面においてご活躍で日本作業療法士協会副会長も務めておられる宮口氏に、ぜひ奈良の地でお話をとお声かけさせて頂いたところご快諾を頂きました。リハビリテーション工学から始まって、認知運動療法、笑いと楽しさ、リスクコミュニケーション、地域高齢者研究、少年院等と辿ってこられた中で、作業療法の視点をどのように取り入れてこられたかをエビデンスの重要性を交えてお話頂く予定です。

宮口氏の少年院等に関するご研究に関しては、たくさんの文献があります。ベストセラーになりました「ケーキの切れない非行少年たち」をご執筆の医療少年院に勤務されていた児童精神科医の宮口幸治氏とはご兄弟です。実際の少年たちの内容も含めてお話頂く予定です。

講師略歴

1986 年 同志社大学文学部社会学科社会福祉学専攻卒業
1989 年 国立善通寺病院付属リハビリテーション学院作業療法学科卒業
1989 年 奈良県心身障害者リハビリテーションセンター
1996 年 広島県立保健福祉短期大学作業療法学科助手
2000 年 広島県立保健福祉大学作業療法学科専任講師
2004 年 広島大学大学院保健学研究科 教授
2008 年 広島大学医学部保健学科作業療法学専攻長（兼務）
2010 年 医学部長補佐（兼務）
2014 年 医歯薬保健学研究院長補佐（兼務）
2018 年 医学部長補佐

2004 年- 認定作業療法士
2004 年- 県立広島大学非常勤講師（2007 年まで）
2005 年- 放送大学客員教授（2011 年まで）
2010 年- 広島市立広島特別支援学校特別非常勤講師

【作業療法士協会関連】

2019 年- 一般社団法人 日本作業療法士協会 副会長

【主な著書】

- ・どう向き合う 高齢者の認知機能，そもそも認知機能とは，文光堂，2019 年，共著
- ・改訂第 2 版 認知症をもつ人への作業療法アプローチ-視点・プロセス・理論-，神経心理学的評価・支援，2019 年，編著
- ・続パーキンソン病はこうすれば変わる，パーキンソン病について，三輪書店，2019 年，共著，宮口英樹、高畑進一、橋本弘子、中西一
- ・脳卒中のリハビリテーション 生活機能に基づくアプローチ 原著第 3 版，三輪書店，2015 年，監修，清水一 宮口英樹 松原麻子
- ・川モデル 文化に適した作業療法，三輪書店，2014 年，共訳，松原麻子、清水一、宮口英樹
- ・不器用な子どもたちへの認知作業トレーニング，三輪書店，2014 年，宮口英樹
- ・・・その他講演や論文多数